

事業番号

2023 - 文科 - 22 - 0029

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	教員研修高度化推進支援事業			担当部局庁	総合教育政策局		作成責任者
事業開始年度	令和4年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	教育人材政策課		教育人材政策課長 後藤 教至
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	教育公務員特例法			関係する 計画、通知等	公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する 指標の策定に関する指針 研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励に関するガイドライン		
政策	1 新しい時代に向けた教育政策の推進			主要経費	教育振興助成費		
施策	1-3 魅力ある教育人材の養成・確保						
政策体系・評価書URL	-						
事業の目的 (5行程度以内)	令和4年12月19日の中央教育審議会答申における「新たな教師の学びの姿」の実現に向けて、オンライン研修コンテンツの開発・充実により、教員研修の高度化を図るほか、教職未経験者に向けたコンテンツも開発・充実させ、それらのコンテンツを活用した教職未経験者の入職支援を図る。 令和4年度の教育公務員特例法の改正により、令和5年度から研修受講履歴の記録及び当該記録を活用した受講奨励を行う新たな仕組みが開始したことを踏まえ、教育委員会と大学等とが連携して研修の高度化モデルを開発することにより、新たな仕組みが各地域の課題に即してより効果的・効率的に運用されることを目指す。						
現状・課題 (5行程度以内)	「教師の新たな学びの姿」の中核となる、研修受講履歴の記録及び当該履歴を活用した更なる受講の奨励という仕組みがより効率的に機能するよう、デジタル技術の活用等を通じた研修の高度化を推進することが必要である。しかし、現状では、多様化、複雑化する教育課題に対してオンラインで提供できる体系的な研修コンテンツが十分ではない。 また、各教育委員会がそれぞれオンラインコンテンツの開発等を行うことは負担が大きく合理的ではない。 制度開始から間がないため、教員研修の高度化の手法に関する教育委員会での蓄積が十分ではなく、各地におけるノウハウも十分ではない。						
事業概要 (5行程度以内)	ICT活用や特別支援教育など、喫緊の教育課題に対応する研修等のコンテンツ開発をすることで、「新たな教師の学び」の実現を目指す。教師が効率的・効果的に研修を受講できるようにするために、オンラインでの研修コンテンツを補助金事業(補助率2/3)で開発し、充実させる。また、社会人経験をもつ、教員免許状保有者や外部人材等の採用前後の学びに活用できるよう、教壇に立つ上で必要な知識技能を習得できるオンライン学習コンテンツを開発し、充実させる。 さらに、教育委員会等が中心になり教員研修の高度化に資するモデル開発(委託)を行い、各教育委員会が定める教員育成指標に沿った教師の学びを充実させる。						
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/content/20230314_mxt-kyoikujinzai01-100002375_04.pdf						
実施方法	委託・請負、補助						
補助率等	・補助対象:大学の設置者、大学共同利用機関の設置者、地方公共団体、教育委員会、公益法人、独立行政法人、 その他教員免許状更新講習開設に関して大臣から認定を受けた実績を有する団体 ・補助率:2／3 ・補助上限:R4補正:1申請あたり6,000千円(補助額4,000千円)、R5補正:1申請あたり2,400千円(補助額1,600千円)						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	-	-	-	-	84.1
		補正予算(B)	-	-	2,251.4	28.8	
		令和5年度第1次補正予算				28.8	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	2,251.4	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	▲2,251.4	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	2,280.2	84.1	
	執行額(G)		-	-	-		
	執行率(%) =(G)/(F)		-	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行 額の割合(%) =(G)/{(A)+(B)}		-	-				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)		教育政策推進費			-	
	(目)		教育政策推進事業委託費	50.2			
	(目)		補助金	33.6			
	(目)		教職員研修費	0.05			
	(目)		諸謝金	0.28			
			その他	-	▲ 0		
	計(A)		-	84.1			

活動内容① (アクティビティ)		喫緊の教育課題等に対応するための教員研修コンテンツを開発するための補助事業を実施する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		多様な分野の研修コンテンツ開発	コンテンツ開発総数	活動実績	本	-	-	-	-	-
				当初見込み	本	-	-	-	323	-
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	現在文部科学省にて「教員研修プラットフォーム」を構築しており、令和6年度より運用を開始予定。当該プラットフォームに開発した研修コンテンツによって、各教育委員会におけるオンライン研修の活用を促進する必要がある。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度	
					6	年度				
				成果実績	件	-	-	-	-	
				目標値	件	-	-	-	33	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		教員研修実施状況調査 ※本項目に関しては、今後実施予定。								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	研修受講履歴の記録及び当該記録を活用した受講奨励を行う新たな仕組みの中で、「新たな教師の学びの姿」の実現に向けて、当該プラットフォームを各教員に主体的に活用してもらう必要がある。教育委員会による職務研修や勤務状況に基づく対話と奨励により、個別最適な学びを促しながら、自主的に学ぶ意欲をかき立てるためには、プラットフォーム内の研修コンテンツの職務研修への活用のみならず、自主研修用のコンテンツの質的な充実の必要がある。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度	
					10	年度				
				成果実績	点	-	-	-	-	
				目標値	点	-	-	-	4	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		開発したコンテンツを掲載する、「教員研修プラットフォーム」(文部科学省にて構築。令和6年度より運用開始予定)に搭載するコンテンツ評価機能による集計結果。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

活動内容② (アクティビティ)		教員研修高度化に資するモデル開発事業を実施する。									
↓											
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		教員研修高度化に資するモデル事業を開発する。	教員研修高度化に資する開発モデル数	活動実績	件	-	-	-	-	-	
				当初見込み	件	-	-	-	36	-	
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	教員研修の高度化に向けて、各地域における様々な課題の解消に資する多様なモデルを開発し、活用促進することで、それぞれの地域に即した教員研修の手法等のアップデートを図る。									
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度		
		教員研修計画の見直し促進・高度化の進展	開発した研修モデルを活用し 教員研修計画を見直した教育委員会数	成果実績	件	-	-	-	-		
				目標値	件	-	-	-	33		
				達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		教員研修実施状況調査 ※本項目の調査については、今後実施予定。									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由									
		-									
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由									
		モデル開発事業の活用により、研修計画が見直され、研修が高度化されることが重要であるが、絶えず高度化していくことが求められるため、定性的にも定量的にも測ることが難しい。このため、長期アウトカムのみ上記のとおり設定した。									
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定 等	名称	-									
	URL	-									
	該当箇所	-									

[illegible]

※執行実績がないため、現時点でのイメージを記載。

教育委員会や大学等が中心になり教育課題等に対応した研修コンテンツの開発や教員研修の高度化に資するモデル開発を行う。

文部科学省
2,280百万円

補助金交付

A.教育課題等に対応した
研修コンテンツ開発
1,249百万円
都道府県・大学等(約50団体)

・個別最適な学びに即した研修コンテンツ等の開発・充実

委託【随時契約(企画競争)】

B.教員研修の高度化に
資するモデル開発
1,031百万円
都道府県・大学等(約40団体)

・教育委員会と大学等が連携して行う教員研修の高度化についてのモデル開発等

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック